

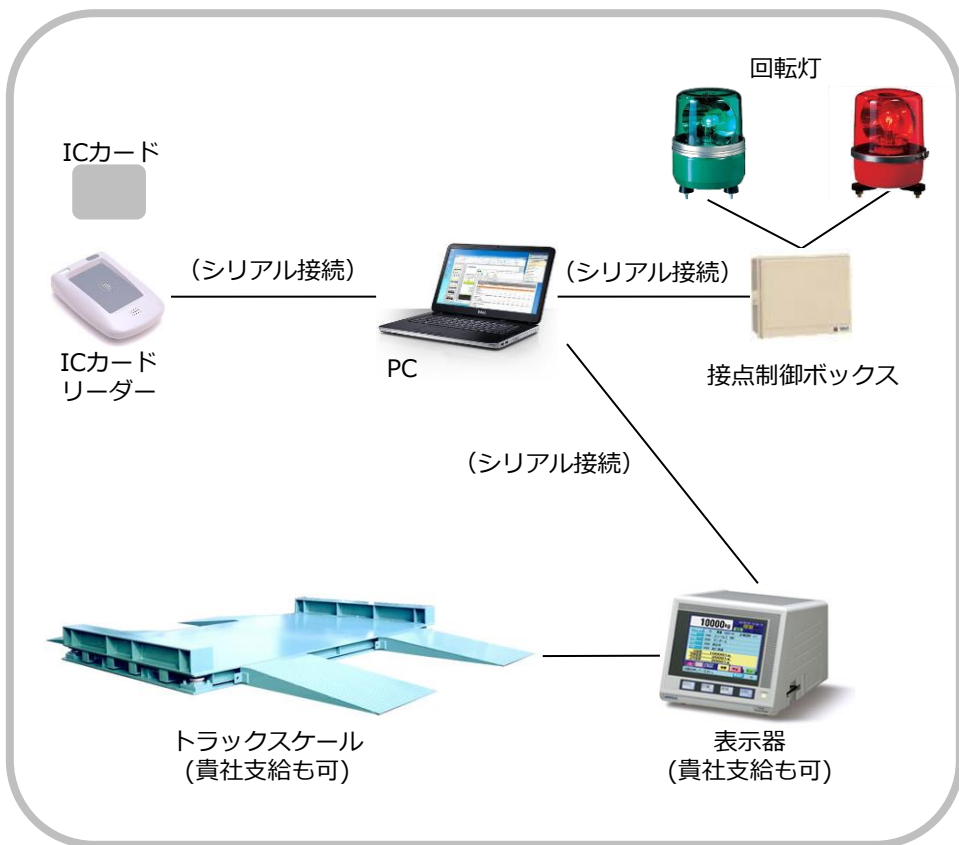
ICタグ 自動計量システム peacock(NETIS:KT-130045-A)
詳細資料

株式会社スカイシステム

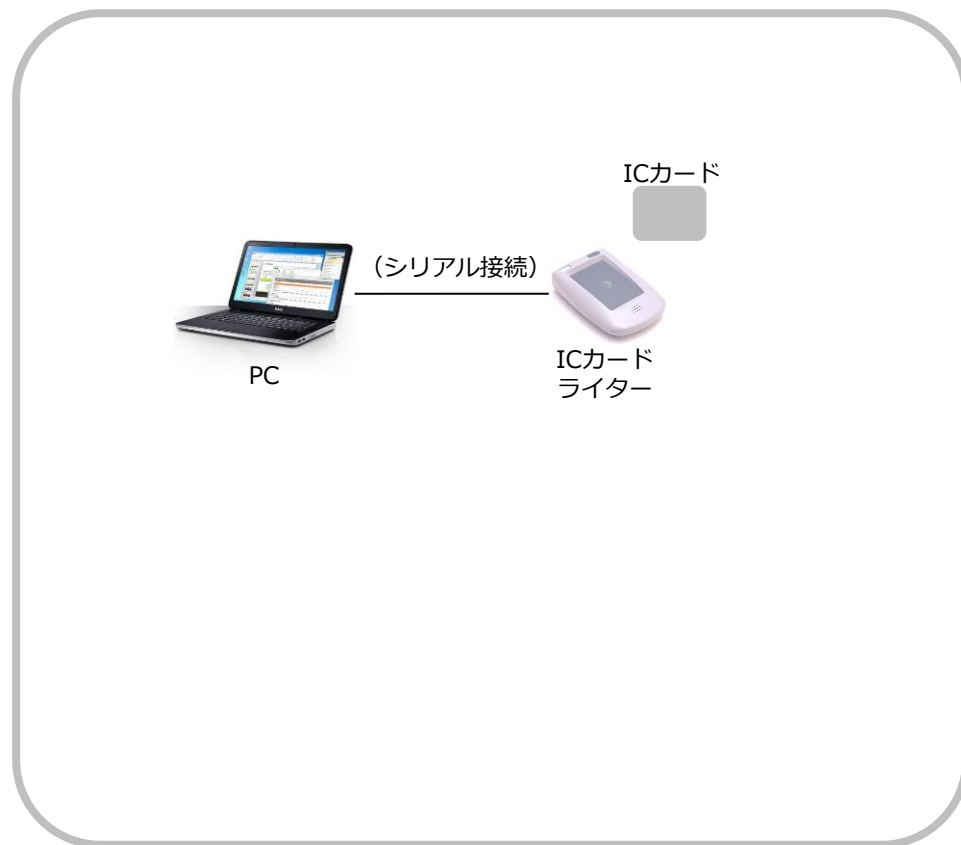
システム概要

本システムはトラックスケールからの計量値と予めICカードに登録した車両情報(車番・最大積載量・空車重量)をもとに、制限重量、過積載を判定し、回転灯を点滅を制御します。

計量所システム



現場事務所内システム



事前準備(ICカードへ車両情報の登録)

現場事務所において、「ICタグ書き込みシステム」をインストールしたPCで車両情報(車番・最大積載量・空車重量)をICカードに登録します。ICカードの書き込み履歴は、CSVファイルとして保存し管理帳票の作成をサポートします。

項目	内容	(文字数)
車番:	0	(半角4桁)
空車重量(kg):	0	(半角5桁)
最大積載量(kg):	0	(半角5桁)



ICタグ書き込みシステム
操作画面

車検証

計量作業(トラックスケール乗台後の操作)

トラックスケールに乗台後、ICカードをICカードリーダーにかざしてください。
計量合格時には緑回転灯が点滅します。制限重量超過、最大積載量超過時には赤回転灯が点滅します。

ICカード



ICカード
リーダー



計量が最大積載量以下の場合は、
計量合格とし緑回転灯を点滅。



計量が最大積載量超過の場合は、
計量合格とし緑回転灯を点滅。



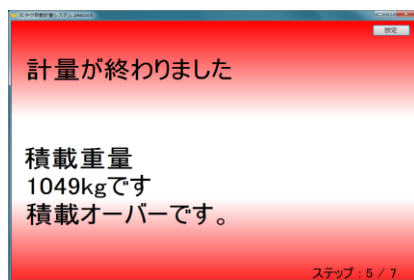
車検証上に定められた定格積載量を上限として、現場独自の自主管理値をもとに計量判定基準を設け、適用することができます。

例えば以下のような運用が可能です。

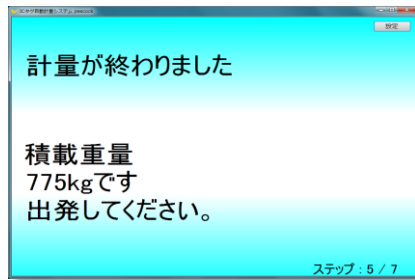
- ◆ 上限自主管理値を最大積載量の90%として設定し、過積載安全枠を設ける
- ◆ 下限自主管理値を最大積載量の80%として設定し、不足の場合は追加で積込み

計量判定と挙動の整理

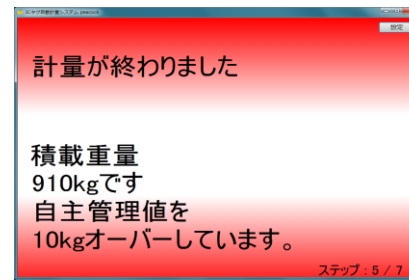
	自主管理値	状況	判定結果	PC画面表示	回転灯
1	適用しない	$(\text{積載重量}) > (\text{最大積載重量})$	超過	OVER	赤
2		$(\text{積載重量}) \leq (\text{最大積載重量})$	合格	OK	緑
3	適用する	$(\text{積載重量}) > (\text{最大積載重量}) \times (\text{上限}\%)$	超過	OVER	赤
4		$(\text{積載重量}) \leq (\text{最大積載重量}) \times (\text{上限}\%)$ かつ $(\text{積載重量}) \geq (\text{最大積載重量}) \times (\text{下限}\%)$	合格	OK	緑
5		$(\text{積載重量}) < (\text{最大積載重量}) \times (\text{下限}\%)$	不足	UNDER	別途定義



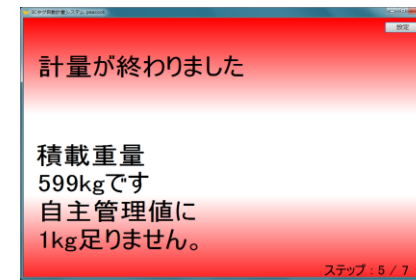
PC画面表示
計量超過時 (#1)



PC画面表示
計量合格時 (#2・#4)



PC画面表示
計量超過時 (#3)



PC画面表示
計量不足時 (#5)

計量所PCには、計量結果が.csvと.xlsのペアで保存されています。.xlsファイルを開くペアの.csvファイルを参照して以下のような帳票が開きます。

通過判定OK台数: 7 台、積載重量合計: 4,945 kg								
計量時刻	車番	積載重量(kg)	最大積載重量(kg)	計量値(kg)	空車重量(kg)	通過判定結果	自主管理値	
1	2013/6/11 10:58	1024	963	1000	2963	2000	OK	適用なし
2	2013/6/11 11:54	1024	568	1000	2568	2000	OK	適用なし
3	2013/6/11 11:54	1024	1058	1000	3058	2000	OVER	適用なし
4	2013/6/11 11:54	1024	680	1000	2680	2000	OK	適用なし
5	2013/6/11 11:54	1024	691	1000	2691	2000	OK	60.0%~90.0%
6	2013/6/11 11:55	1024	1069	1000	3069	2000	OVER	60.0%~90.0%
7	2013/6/11 11:55	1024	687	1000	2687	2000	OK	60.0%~90.0%
8	2013/6/11 11:55	1024	739	1000	2739	2000	OK	60.0%~90.0%
9	2013/6/11 11:55	1024	512	1000	2512	2000	UNDER	60.0%~90.0%
10	2013/6/11 11:55	1024	617	1000	2617	2000	OK	60.0%~90.0%
11								

- ①通過判定OK台数：当日の通過判定に合格した台数。
- ②積載重量合計：当日の通過判定に合格した積載重量の合計。
- ③番号：通過判定を実施した通し番号
- ④計量時刻：通過判定を実施した年月日時刻。
- ⑤車番：ICカードに記録されていた車番。
- ⑥積載重量(kg)：車両に積載している重量の計算値。
⑧計量値 - ⑨空車重量。
- ⑦最大積載重量(kg)：ICカードに記録されていた最大積載重量。
- ⑧計量値(kg)：トラックスケールで計量した車両全体の重量。
- ⑨空車重量(kg)：ICカードに記録されていた空車重量。

- ⑩通過判定結果：通過判定の結果。
 - ・OK：積載重量が適切な範囲に収まっています。
 - ・OVER：積載重量が多すぎます。
自主管理値の適用なしの場合：
⑥積載重量が⑦最大積載重量を超えています。
自主管理値の適用ありの場合：
⑥積載重量が⑦最大積載重量に上限%を乗じた値を上回っています。
 - ・UNDER：積載重量が少なすぎます。
自主管理値の適用なしの場合：発生しません。
自主管理値の適用ありの場合：
⑥積載重量が⑦最大積載重量に下限%を乗じた値を下回っています。
- ⑪自主管理値：自主管理値。
 - ・適用なし：自主管理値を適用しません。
⑥積載重量が⑦最大積載重量より少なければ、判定結果をOKとします。
 - ・nn.n%~mm.m%：自主管理値を適用します。
⑥積載重量が⑦最大積載重量に自主管理値を乗じた範囲に収まっていれば、判定結果をOKとします。

【オプション】

【オプション】ゲートバーオプション

緑回転灯、赤回転灯の挙動に合わせ、ゲートバーの開閉を制御します。
(ゲートバーは貴社調達となります)



【オプション】バックホーオペレータ通知オプション

自主管理値適用時の積載下限不足分をバックホーに搭載したスマートフォンに通知します。
(現場の状況に応じて、通信形態を勘案し別途御見積をさせていただきます)

